



御代田町長 茂木 祐司

町発展の 新たな挑戦の年に

平成二十七年

町民の皆さまにおかれましては、新年をお健やかに迎えのことと、お喜び申し上げます。

町の発展を支えてきた、先人の皆さまの精神を受け継いで

昭和31(1956)年9月30日に、当時の御代田村・小沼村・伍賀村が昭和の大合併により御代田町として誕生して、58年を迎えました。

御代田町は、豊かな自然環境のもとで住みよい町として発展を続け、人口で1.8倍、世帯数で3.6倍という、驚異的な人口増を成し遂げしてきました。今、長野県内でも日本中でも人口の減少が続いている中で、御代田町は着実に人口が増えています。

今日までの御代田町の発展を支えていただきましたすべての皆さまに、心より感謝を申し上げます。そして、私たちは先人の皆さまの血のにじむような努力によって築いてきていただいた尊い精神を受け継いで、これからの御代田町の将来に責任を持って挑戦していかねばなりません。

2万人の町づくりに向けて、本格的な取り組みを

御代田町は20年前、柳沢薫元町長のもとで町のビジョンを示した「長期振興計画」に、「超」長期的な目標として2万人の人口をもつ町づくりを掲げました。

当時(平成7年10月)は、12,573人、4,309世帯で、現在(平成26年10月)は15,089人、6,038世帯です。この20年間に2,516人、1,729世帯の増加となっています。しかし、人口減少社会が叫ばれている中ですから、町としての本格的な取り組みが必要です。

いま日本の政治と経済の状況をみた時に、「これから先は、どうなっていくのか?」と国民の誰もが不安な思いでいるのではないのでしょうか。国と地方の借金はついに1千兆円を超えて、将来への展望を示すことができない行き詰まりの状況にあるように、私は感じています。

すでに町民の皆さまに役立つ事業を行ううえで欠かせない、町にとって重要な歳入である地方交付税や補助金の減

額が実行されていますし、今後の見通しは極めて不透明な状況にあります。

真に自立した町にむけて、産業と経済の「底力」をつけよう

こんな時だからこそ、自立した町にふさわしく将来に向けた町の発展を支える産業や経済の「底力」をつけていかなければなりません。私が、まわりの市町村の方々からよく言われることは「御代田町は優良な企業も多いし、農業では高原野菜を中心としてしっかりしていて、バランスが取れている。羨ましいですね」ということです。こうした町の産業や経済の魅力をも、さらに強くしていかなければなりません。

御代田町の2015年が、新たな町の発展の契機をつくる年になりますよう、全力をあげていきたいと考えています。新しい年が、町民の皆さまにとっても御代田町にとっても、新たな挑戦にむけた出発点になりますようこれまで以上のご支援とご協力をお願い申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

新春あいさつ

長寿社会・明るく・楽しく

御代田町



町議会 議長 笹 沢 武

新年おめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日ごろは、議会に対して、皆さまから温かいご支援・ご協力をいただいておりますことに、議会を代表して心から御礼と感謝を申し上げます。

昨年海外では、ナイジェリアでイスラム過激派の少女拉致事件、韓国で旅客船セウォル号の沈没事件など、若い世代が被害に合うショックな事件・事故が相次ぎました。

また、昨年も異常気象による天候不順が世界各地で続き、記録的な豪雨による水害等で深刻な穀物の高騰や食糧不足の問題が発生しました。

国内でも、2月に関東甲信地方が記録的な大雪に見舞われ、交通麻痺によって日常生活は停滞を余儀なくされ、パイプハウスの農業施設は壊滅的な打撃を被りました。

9月には御嶽山が噴火し、多くの登山者が死亡・行方不明となり、11月には長野北部地震が発生する等天災の恐さを実感した一年でありました。

国内の政治、経済に目を向け

ると、4月から消費税8%となりその後、個人消費が低迷、国内総生産(GDP)速報値は4月9月にかけて2四半期連続のマイナス成長となり、今後に憂いを残しました。

国は毎年1兆円ずつ増大する社会保障費を確保するため、税と社会保障の一体改革を進めている最中で、今後は消費税10%への引き上げも明言しています。現在検討中の軽減税率等低所得者対策や増税の財源が社会保障費に有効に使われるのか等、国民益に叶う税制改正となるのか、国民一人ひとりが厳しい監視の目を向ける時です。

昨年、閣議決定された武器輸出の新原則や、集団的自衛権行使の限定容認については、国民の賛否が分かれています。複雑化する近隣諸国との関係を見定め、日本国民の安全が守られ安心して暮らせる政策の展開を期待するところであります。

御代田町のしなの鉄道の栄橋架け替え工事では、町内外の皆さまに大変ご不便をおかけ致しました。工期を待たずに完成し、7月の龍神まつりも滞りなく実施できました。

長年の課題でありました新ごみ焼却施設「新クリーンセン

ター」名称「佐久市・北佐久郡環境施設組合」は10月1日に設立され、佐久市、軽井沢町、立科町、御代田町1市3町の組合となりました。完成は平成30年度の予定です。

高齢社会が進む中、御代田町の高齢化率は県内で下から2番目に位置していますが、高齢化率は24・1%と漸増しています。高齢化とともに医療の高度化も進行し、当町の国保・介護保険財政は厳しさを増しています。

今こそ、町を挙げて「健康ウォーキング」の推奨など、健康寿命を延伸するための行動を、町民・行政・議会が手を取り合っ

て起こす時です。当議会は、本年も町民の皆さまのご期待に応え、信頼される議会となるよう努力してまいりますので、一層のご支援、ご協力をお願い致します。

終わりに、平成27年が御代田町に元気があふれることを願うとともに、町民の皆さまの幸多きことを心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。